

平成23年度政策経営基本方針の概要

1 策定の目的

現下の厳しい行財政環境の中で、知事がリーダーシップを発揮し県政運営の舵取りを行うべく、平成23年度における県政運営の基本となるべき方針を示すものである。

2 内容

(1) 県政を取り巻く現状と課題

人口減少や少子高齢化など、社会経済情勢の目まぐるしく変化する時代にあって、新たな県政の基本指針として、「新とちぎ元気プラン（仮称）」（以下「新元気プラン」という。）を策定し、元気にあふれる栃木県づくりを目指すこととしている。

また、緊急経済対策や財政健全化、地方分権改革への対応など、様々な行政課題に的確に対応していく必要がある。

(2) 政策経営の基本的考え方

厳しい行財政環境の中で、選択と集中による施策の重点化を図るとともに、緊急経済対策などの喫緊かつ重要な課題についても的確な対応を講じる。

そのため、これまで以上にトップマネジメント力を向上させ、部局の枠組みにとらわれることのない、機動的で積極的な県政運営に取り組んでいく。

さらに、協働によるとちぎづくりを一層前進させるための基盤づくりや仕組みづくりに積極的に取り組む。

新元気プランの着実な推進を図り、地方分権時代にふさわしい県政を実現するには強固な行財政基盤が必要であることから、新元気プランの着手を踏まえた予算編成、定員・組織体制の整備とともに、平成23年度を初年度とする新たな大綱に基づく行財政改革に取り組み、「安心成長 環境 をともにつくる、元気度 日本一 栃木県」の実現に向けた第一歩を踏み出す。

(3) 平成23年度政策経営実施方針

① 新元気プラン

「安心 成長 環境 をともにつくる、元気度 日本一 栃木県」という将来像を実現していくため、「新元気プラン」の開始年度として、とちぎづくりの原動力となる「人づくり」を政策の基本に据えながら、「暮らしを支える安心戦略」、「明日を拓く成長戦略」、「未来につなぐ環境戦略」の3つの重点戦略を軌道に乗せ、推進していく。

ア 政策の基本「人づくり」

イ 重点戦略

- ・ 暮らしを支える安心戦略
- ・ 明日を拓く成長戦略
- ・ 未来につなぐ環境戦略

② 重点施策

ア 経済・雇用対策

③ 政策の推進体制

ア 予算編成

- ・ 事業の選択と集中
- ・ 内部努力の徹底
- ・ 事業手法の効率化
- ・ 受益者負担の適正化
- ・ 県税収入の確保
- ・ 未利用県有地の処分及び利活用の推進
- ・ 財源確保の工夫

イ 定員・組織体制の整備

- ・ 定員の適正化
- ・ 組織体制の整備

ウ 行財政改革大綱の推進

- ・ 県民とともに地域を創る行政の推進
- ・ 県民に開かれた行政の推進
- ・ 自律的な財政基盤の確立
- ・ スリムで活力ある執行体制の確立

④ 地方分権改革への対応